

令和4年度

第3回柏市社会教育委員会議

会議資料

令和5年2月7日

柏市社会教育委員 委員名簿

所属等	職務名	氏名 ※敬称略
柏市立逆井小学校	校長	ながしま まりこ 長島 麻利子
柏市立柏第二中学校	校長	いまい あつし 今井 敦
柏市青少年健全育成推進連絡協議会	会長	あらい まさひこ 荒井 真彦
柏市障害者等社会参加コーディネーター		いしがき ひろこ 石垣 裕子
さわやかちば県民プラザ	所長	かざと ただし 風戸 正
柏市社会福祉協議会	地域福祉課長	たかはし ふみなり 高橋 史成
柏市ふるさと協議会連合会	監事	とみた や み え こ 富田谷 三恵子
柏市PTA連絡協議会	会長	ときた かずゆき 鴫田 和之
みんなの子育て広場支援コーディネーター		しもじ きょうこ 下地 今日子
開智国際大学教育学部	教授	てらもと たえこ 寺本 妙子
市民公募		ふるはし ようこ 古橋 洋子

任期：令和3年6月1日から令和5年5月31日まで

※風戸委員，鴫田委員の任期については令和4年6月1日から令和5年5月31日まで

柏市教育委員会 出席職員名簿

所 属	職 名	氏 名	
生涯学習部	部 長	みやじま こうじ 宮島 浩二	
生涯学習課 (事務局)	課 長	おきもと まさき 沖本 雅樹	
	統括リーダー	やなぎぬま はじめ 柳 沼 肇	
	統括リーダー	やまもと さとこ 山本 郷子	
	担当リーダー	ひろせ くみこ 廣瀬 久美子	
	主任	あべ はるか 阿部 遥	
	生涯学習専門 アドバイザー (生涯学習分野)		はえぬき ひろたか 崩拔 博孝
			いわぶち ひろみ 岩渕 弘美
		おかの としろう 岡野 敏郎	
中央公民館	館 長	あいかわ あきよ 相川 章代	
図書館	館 長	さかぐち そのこ 坂口 園子	
学校教育部 学校教育課	担当リーダー	ふくだ あつこ 福田 敦子	

次 第

- 1 開 会
- 2 生涯学習部長あいさつ
- 3 議長・副議長あいさつ
- 4 議 事
- 5 協議事項
- 6 事務連絡
- 7 閉 会

目 次

1	社会教育関係団体補助金交付に係る意見聴取について	1
2	第4次柏市生涯学習推進計画の進捗状況	3
3	今期社会教育委員会議の振り返り	5
4	協議事項	7

1 社会教育関係団体補助金交付に係る

意見聴取について

- ・社会教育関係団体に補助金を交付しようとする場合には社会教育委員の意見を聴いて行うこととされています。
- ・令和5年度は、以下の社会教育関係団体に対し、補助金の交付を予定しています。

【補助金の交付を予定している社会教育関係団体】

担当課	団体名 (補助金件名)	令和4年度 補助金額(円)	令和5年度 予定額(円)
生涯学習課	柏市PTA連絡協議会 (PTA連絡協議会補助金)	940,000	940,000
	柏市青少年相談員連絡協議会 (青少年相談員連絡協議会活動費補助金)	3,391,000	3,791,000
	柏市青少年健全育成推進連絡協議会 (青少年健全育成推進連絡協議会活動費補助金)	2,408,000	2,408,000
	柏市子ども会育成連絡協議会 (子ども会育成連絡協議会活動費補助金)	1,134,000	1,134,000
	柏市スカウト連絡協議会 (スカウト連絡協議会活動費補助金)	262,000	262,000
文化課	柏市文化連盟 (柏市芸術文化活動補助金)	456,000	456,000
	柏市合唱連盟 (柏市芸術文化活動補助金)	121,000	121,000
	柏交響楽団 (柏市芸術文化活動補助金)	121,000	121,000
	柏市民吹奏楽団 (柏市芸術文化活動補助金)	121,000	121,000
	柏ジュニアストリングオーケストラ (柏市芸術文化活動補助金)	121,000	121,000
少年補導センター	柏市少年補導委員連絡協議会 (少年補導委員連絡協議会補助金)	461,000	461,000

参考

○社会教育法

(社会教育関係団体の定義)

第 10 条 この法律で「社会教育関係団体」とは、法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。

(審議会等への諮問)

第 13 条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、(中略)地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議(中略)の意見を聴いて行わなければならない。

令和 5 年 1 月 3 1 日時点

概要

柏市内の小中学校のPTAで組織された団体。単位PTA相互の連絡及び共通課題の研究を進め、相互提携して市内PTAの健全な発展に寄与する活動を行っている。総会・運営委員会・専門委員会、PTA活動に関する研修会、研究協議会の開催、広報紙の発行、こども110活動等の事業に対する補助金。

青少年健全育成を推進するために千葉県知事及び柏市長から委嘱を受け、さまざまな体験活動や啓発活動に取り組む青少年相談員をもって組織される柏市青少年相談員連絡協議会に対する補助金。
(令和5年度補助額は創立60周年記念事業分400,000円を含む)

青少年の健全育成を目的に、小中学校とPTAや町会、民生委員などの各種団体等(青少年相談員、少年補導委員、子ども会等)で構成される青少年健全育成推進連絡協議会に対する補助金。

子ども達の健全育成を目的に異なる年齢の子ども及び運営を行う子ども会をもって組織し、保護者や地域住民の支援のもと学校外における遊びを通して子ども達が健やかに成長できるよう様々な行事を行っている子ども会育成連絡協議会に対する補助金。

スカウト活動を通じた青少年健全育成を目的に柏市スカウト連絡協議会が行う活動に必要な会議及び調査研修等に対しての補助金。

芸術文化活動を行う団体に対し、芸術文化活動の活性化を促進し、もって芸術文化の振興に資することを目的とする活動補助金。

青少年の非行防止と健全育成に寄与するため地域における補導活動等を行う少年補導委員で組織される柏市少年補導委員連絡協議会の活動を支援する補助金。

2 第4次柏市生涯学習推進計画の

進捗状況

第4次柏市生涯学習推進計画（計画期間：令和3～7年度）

市の最上位計画である「柏市第五次総合計画」の部門計画。目指す生涯学習像は「笑顔と元気が輪となり広がるまち柏 ～学びを通じた地域活性化～」

目指す方向性

- ・子どもたちが健やかに成長するように
- ・コミュニティの中に人と人のつながりがふえるように
- ・すべての人が学べる環境に包まれるように

取組方針（学びのステップ）

- ・「はじめるきっかけ」を支援
- ・「もっと知りたい、つながりたい」を支援
- ・「ひろく伝えたい」を支援
- ・情報提供による学びの支援

※分野ごとではなくステップごとに紐づく事業を整理（主な事業は20）

計画の推進・評価体制

（計画策定時に生涯学習推進本部で作成，附属機関に意見を聞きながら推進 以下抜粋）

5か年の進捗管理について

事業ごとの評価

- ・事業毎に1～2の「指標」と「目標」を設定し毎年進捗管理を行う（主な事業）
- ・中間評価（3年終了時）は，全事業について計画上の位置付け及び目標値等の確認・修正を行う。

ステップごとの評価

- ・ステップに紐づく事業数の増減及び事業間連携の取組の有無を評価する。

最終年度の達成度評価

①主な事業の進捗状況，連携の取組状況

②各ステップごとの進捗状況（事業数の増減，連携の取組状況）

上記2点を踏まえ，本計画の目指す方向性（子ども・コミュニティ・環境整備）の観点から総合的に評価し，次期計画につなぐ。

進捗管理表 事業ごとの評価のために使用

事業名	放課後子ども教室		担当課	生涯学習課
事業概要	地域ボランティア等の参画による小学校の余裕教室を活用した放課後の学習支援等を行うは学校や企業等との連携による体験講座を実施			計画策定時に設定
計画への位置付け	D・E・F・G	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたいつながりたい」に関する効果	・小学生の放課後活動の支援に継続的に関わることで学校との連携につながる ・学習支援をするボランティアは、活動を通して子どもとの関わり方に対する興味が広がる			
連携・関連事業	(例) 地域学校協働活動ほか			
今年度の取組	(例) 子ども達の学ぶ意欲と学ぶ習慣の定着を図る学習会に加え、好奇心を引き出すプログラムを工夫して実施した。			
今年度の変更	有り	理由・効果	(例) 新型コロナウイルス対策のため、規模を縮小して実施	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標 (R7年度)	実績 (R5年度)
	参加児童数 (延べ)	45,000人	56,000人	〇〇〇人
	参加ボランティア数 (延べ)	8,000人	10,000人	〇〇〇人
総合評価	B	評価の理由	コロナ禍で一定程度の成果を上げたが、次年度以降の取組方に大幅な検討が必要のため	
連携の具体的取組	〇〇〇〇			
R3～5年度の取組	(例) 子ども達の学ぶ意欲と学ぶ習慣の定着を図る学習会に加え、好奇心を引き出すプログラムを工夫して実施した			中間評価時に確認 予定 (未掲載)
R3年度以降の変更	有り	理由・効果	(例) 新型コロナウイルス対策のため、夏休み子どもオンライン実施と両面に拡大	
計画への位置付け 変更の必要性	有り	具体的内容	(例) はじめるきっかけにも位置付ける オンライン化で現地ボランティアの数が減る一方、新たな参入のきっかけになるため	

別添資料参照

- ・第4次柏市生涯学習推進計画 (概要版)
- ・第4次柏市生涯学習推進計画 (令和3年度進捗状況)

担当課作成の進捗をまとめ、本会議で意見を聴取、必要な修正を施し完了予定

③ 今期社会教育委員会議の振り返り

今期社会教育委員会議において3つのテーマを設定し、協議検討を行った。

(1) 前期提言「生きる力を育む体験への関わり」の実践

令和3年第2回

- ・放課後子ども教室の取組について、事業の拡充イメージと取組状況を説明
- ・事例発表「花野井小学校の花さぼ会の沿革」
- ・協議「地域連携ルーム等の設置と活用にはどんな可能性があるか。地域の大人が学校とつながり、大人の活動をつなげていくにはどのようにしたらよいか」

令和3年第3回

- ・講義「総合的な学習の時間における学校・地域・大学の連携」
- ・協議「柏市における地域と学校の連携について「総合的な学習の時間」を切り口に考える」

令和4年第2回

- ・事例発表「土っ子面白チャレンジ教室 in 2022」
- ・協議「地域と関わり幅広い体験等のできる取組を実施し、継続可能とする工夫について」

提言実践に繋がる放課後子ども教室のモデル事業として、土っ子面白チャレンジ教室の事例発表を基づく協議を行い、他校での取組検討にあたって参考にすべき意見をまとめることができた。

(2) 生涯学習推進計画の推進，進捗管理

- ・令和3年度第1回会議にて、生涯学習推進計画の概要を説明
- ・令和3年度活動分から進捗管理を開始（今回の議事）

(3) 若者支援に関する協議

令和4年第1回

- ・協議事項「若者を取り巻く課題と支援」※詳細は次頁

協議事項「若者を取り巻く課題と支援」でのご意見

課題

- ・大人しく良い子だが受け身，指示待ち
- ・将来の夢が抱けてない，勤労意欲や正しい職業観が欠けている
- ・職場でのストレス，精神疾患
- ・高校中退
- ・コミュニケーション能力の低下
- ・ヤングケアラー
- ・学校を離れてからの居場所が心地よい場所でない
- ・リアルな関係に自信が無い
- ・社会との関わりが薄かったり，ひきこもり状態

支援

- ・アンケート等からニーズを探る
- ・こども食堂
- ・部活動地域移行
- ・周知活動が大切，SNSの活用
- ・趣味を作れるような体験の場，体験活動
- ・親も一緒に地域の行事に参加
- ・保護者同士，学校，子どもとのつながり
- ・単に居ていい場所，ゆるやかな居場所・つながり
- ・自己肯定感・自己有用感醸成の機会
- ・コミュニティ・スクールとの関連
- ・スクールソーシャルワーカーとそれに類する活動をする人

次期に向けて，子ども・若者の課題及び支援のあり方について継続的に取り上げて行く。

4 協議事項

今回の議題

「次期社会教育委員会議において若者の居場所や支援を取り上げ、検討していくにあたり必要だと思うこと」

◎ 事務局より提案

次期（令和5－6年）会議のテーマの1つとして「若者の居場所と支援」を設定し、市の取組方針への意見聴取、モデル的な事業（居場所作りなど）について検討いただきたい。

詳細については、当日資料をもって説明いたします。